

医薬品の安定供給確保並びにイノベーション推進を求める要望意見書

一部メーカーの製造管理及び品質管理の不正問題に端を発する医薬品や医療材料の供給不安は、需給の逼迫に加え、政府の頻繁な薬価引下げや昨今の原材料価格の高騰に伴うメーカーの採算悪化によって、実に3年以上にわたって継続しています。

この間、医療機関や薬局においては、医薬品の入手が極めて困難となっており、一部では必要な薬が患者に届かない事態を招くなど、国民の命と健康に影響を及ぼしかねない事態が続いており、我が国のイノベーション創出力の低下も明らかとなっています。

こういった事態を踏まえ、国では供給不足の医薬品を早期に安定供給できるようメーカーへの増産要請を行うなど、様々な対応を講じていますが、依然として深刻な状態が継続しています。

現下の供給不安を一刻も早く解消し、かつ将来にわたって、国民に医薬品や医療材料を安定的に供給し、かつイノベーション創出を促すためには、現行制度の見直しを図る必要があります。

よって、国及び関係機関におかれましては、患者負担増につながらない方法で中間年改定の廃止を含めた薬価制度の抜本的見直し、さらには医薬品の安定供給に取り組む製薬メーカーが、市場で評価される仕組みの導入や、生産力増強への支援の充実など、流通改善の取組推進を強く要望いたします。

苫 小 牧 市 議 会

【提出先】 内閣総理大臣、厚生労働大臣、財務大臣、衆議院議長、参議院議長